

令和2年度 防災教育コーディネーター研修会（令和2年6月17日開催）①

【実践発表「学校防災・防災教育に関する地域との連携」】大分県立臼杵支援学校 教諭 後藤 香織 氏

【臼杵支援学校】児童生徒数の減少、地域や関係機関とのつながりも減少

しかし！！

臼杵市の避難所に指定／大規模災害時には「臼杵・津久見警察署」「大分県臼杵土木事務所」「大分海上保安部」が本部を設置する

教職員全体に浸透していない！

課題①児童生徒、教職員、保護者の防災意識・知識を高める

・教職員も少ない、児童生徒も帰宅困難になる可能性

- 訓練の取組方の見直し（実践型訓練）
- 専門家を招いて教職員研修
- 児童生徒の実態や発達段階に応じた防災教育の目標を設定
- 体験型学習、問題解決学習（日々の学習の中に防災の視点を取り入れた授業実践…事例集は学校安全・安心支援課HPに掲載）
- 保護者と一緒に避難訓練の実施

課題②地域との協力できる体制作り

・地域の避難所なのに関係が薄い

- 防災教育コーディネーターと事務室が窓口となって調整…市役所に出向く、横のつながりを活かす、自治会に声をかける等
- 関係機関と会議の場の設定
- 警察署や土木事務所、海上保安部などの具体的な内容の検討
- 自治体、地域との交流

結果①児童生徒、教職員の意識の変容

・分掌間やPTAの協力があり、学校全体で行事や研修に防災が取り入れられた。（特活部・研修部・生徒指導部・美術担当・PTA）

・実践的な避難訓練や定期的にシェイクアウト訓練を実施。児童生徒の意識が高まり実践力がついてきている。

結果②地域とのつながりをもつことができた

・臼杵・津久見警察署、大分県臼杵土木事務所、大分海上保安部の本部設置訓練を実施できた。

・地域の行事などにも参加し、地域の方から臼杵支援学校との距離が近づいたとの声をもらった。

* 保護者との連携 *

アンケート・個人備蓄品入替・訪問教育児童保護者と避難場所避難経路の確認・長期休業中の宿題
講義「災害発生！その時どうする？～助けられる人から助ける人へ～」・引渡し訓練・合同避難訓練

* 地域・関係機関との連携 *

実践委員会・ホットぼうしの製作・下北地区安心安全フェスタへ参加・炊き出し
本部設置訓練（臼杵津久見警察署、大分県臼杵土木事務所、大分海上保安部）・大分合同新聞記事掲載



ザ・ボウサイズ

今後の課題

- ・避難所開設訓練（教職員）
- ・関係機関や地域とのつながりをどう保っていくか
- ・防災教育の在り方の検討（教育課程の位置づけ）
- ・避難訓練の際の教師間の声の連携